

同好会に参加してきました！

「第1回 音楽芸能鑑賞同好会」「文楽」を楽しむ会」

会報・広報委員長 大島弥生

2024年1月22日、第1回文楽を楽しむ会に参加してきました。初春文楽公演「伽羅先代萩(めいほくせん だいほぎ)」、仙台伊達家で起こった権力闘争を題材に争いに巻き込まれた人々の悲劇を描いたものです。人形遣い、そして息の合った太夫と三味線、とても迫力ある公演でした。女性の人形の頭は鼻・口が動かないのですがなぜか顔にあらわれる様々な表情、太夫の一人何役もの声色の使い分け、そして迫力ある太棹の響きどれも素晴らしかったです。約2時間の演目でしたが、あっという間でした。



乳母 政岡

このお話、乳母政岡と若君鶴喜代、乳母の子供千松、そして若君の命を狙う八汐の間で繰り広げられます。毒殺から若君を守ろうとする政岡、食事も茶釜でお米を炊いておにぎりを作るといふ徹底ぶり。そして千松は幼いながらも若君を守ろうと毒見をし、その毒殺をを隠そうとする八汐に殺されてしまいます。我が子を目の前で殺されているにも関わらず、若君を守ろうとする政岡。このシーンは涙を誘いました。久しぶりに見た文楽でしたが、日本の芸能のすばらしさに触れることができた午後のひと時でした。その後「道頓堀今井」での懇親会、今日観た文楽の話題で盛り上がりました。同好会世話人の中村さん・岩崎さん今後もいろんな観劇、企画してください！



あっ、中村さんがかじられてる～



新春 にらみ鯛